

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場 総務課
(〒949-75 ☎(0258)89-3111)

元気です●かわぐちっこ ㊦

小林唯人^{ゆい}ちゃん (相川3・3歳5か月)

光浩さん・景子さん 二男



お友達よりちよつと体が大きく
暴れん坊将軍。階段から落ちてお
ちうちになっても元気いっばいで
す。でもやさしいところもいっ
ぱい。おまけにちよつとびり泣き虫
毎日お兄ちゃんと自転車に乗った
り、畑で仲良く遊んでいます。
来年は保育園です。

(保育園に上がる前のちびっ子たちを紹介し
掲載ご希望の方はご連絡ください。)

川口の山野草 ㊦

カキラン「柿蘭」

(ラン科)

七月の初旬、木沢総代の星野さん
から連絡を頂いて出掛け、カメラを
向けたのがこの写真です。

「カキラン」の花期は六〜八月、
照葉林帯から夏緑林帯の明るい湿地
を好み、殊に谷筋に多く見られます。
分布は日本全土、日本の近隣では朝
鮮半島や中国の東北部に多く、花は
光沢のある熟れた柿の実の色にそっ
くり、これが「カキラン」の学名に
なったと思われます。ある地方では
「スズラン」と呼んで親しまれていま
すが、ツボミの型が可憐な「スズラ



ン」によく似ているからでしょう。
総代さんのお話では最近まで沢山
見られた花だったとか、私が見たの
は僅かに四本、惜しいかなこの花も
乱獲され、やがて川口町でも見られ
なくなるのではと心配です。

(写真・文 木沢 鈴木良治さん)

人口の動き (平成9年9月20日現在)

※()内は前回からの増減

男	2,995人	(-2)
女	3,151人	(+3)
人口計	6,146人	(+1)
世帯数	1,561戸	(+3)



<表紙の写真から>

川口中学校体育祭。隔年開催が今
年から毎年開催されることになり生
徒もパワーアップ。応援合戦に、川
中オリジナルに、個人・団体競技に、
力の限り取り組んでいました。

広報 かわぐち 10月号

発行/川口町(代表者 川口町長 青柳弘) 編集/川口町役場総務課 印刷/尙山勝堂



大なわとび
(9月7日 川口中体育祭)

町制施行40周年記念式典	2~3	人事異動	11
川口まつり	4~5	消防団総合演習	12
平成8年度町の決算	6~9	うたとトークのつどい	14
改正道路交通法	10	お知らせコーナー	16~18

おもな内容

あとかき

根曲ガリの杉の間伐材から
生まれたアルプホルン。ホ
ルンの会の皆さんは短期間
でハードな練習を重ね、初舞台が
いきなり町の四十周年記念式典。
演奏が終わって大きな拍手に包ま
れみんな感激していました。子供
たちにとってもきつと忘れないで
い思い出になったのではないでし
ょうか▼手作りホルンを通して多
くの出会いがありました。雪国特
有の根曲ガリの杉も、少し手を加
えれば資源となつて文化が生まれ
多くの人に感動を与えることがで
きることを学びました。ある来賓
の方がホルン演奏を聴いて「人間
の知恵と出会いは限りない。人間
の文化はこうして作り上げられる
んだな」と語っていたことが忘れ
られません▼手作りホルンが根づ
いて全国のホルン仲間と交流、さ
らに本場スイスの人たちとも...。
いざれば「ホルンの町」と呼ばれ
るようになったら素晴らしいこと
ではないでしょうか。

ふるさと友好都市提携10周年・総合竣工

記念式典を挙行

刻んで



9月19日、すばく川口で町制施行四十周年、東京都狛江市とのふるさと友好都市提携十周年を祝う記念式典と合わせ総合竣工式が行われました。

式典には、国・県の関係者や近隣市町村長、ふるさと友好都市狛江市から矢野市長、市議会議員など、町内外の来賓約三百六十人が出席して盛大に行われました。

式典は、小・中学生などで結成する「ホルンの会」(浦井勉会長)のメンバーによるアルプホルンの演奏で開幕。続いて青柳町長が、四十周年の歴史を振り返りながら、キャンパス川口温泉施設、公共下水道事業、中山間地域総合整備事業などの主要事業の竣工に感謝した後「四十周年記念は、過去の歴史を記念するばかりでなく未来に対する

新たな決意の宣明です。来たるべき二十一世紀に向けた新しい町づくりを推進し、二十一世紀は面白い川口に、楽しい川口に、住んでよかった川口にしたい。」と式辞を述べました。

栗原氏・佐藤氏を特別表彰

続いて町制施行四十周年に当り特別表彰が行われ、長い間、地域医療の確保に尽力された栗原稔さん(川口一)と佐藤靖邦さん(川岸)に表彰状と記念品が贈られました。

また、来賓の新潟県知事代理・本間出納長をはじめ、国会議員、矢野狛江市長などからお祝いの言葉をいただきました。

川口町の誕生

明治22年町村制施行の際は、川口村・西川口村・川口原新田村・山崎新田村が合併して川口村と称し、明治34年津山村(和南津・中山)を廃し川口村に合併し、昭和4年菰生村のうち相川・武道窪・荒谷・牛ヶ島を川口村に合併。昭和29年に旧田妻山村及び旧東山村の一部(木沢・峠)を編入し、昭和32年8月1日町制を施行、川口町が誕生、現在に至っています。

歴史を 町制施行

狛江市から記念品

狛江市からふるさと友好都市提携十周年を記念して、記念品(自動マッサージ機6台)が贈られ、矢野市長から青柳町長に目録が手渡されました。

ふるさと友好都市 狛江市

川口町と東京都狛江市は、教育、文化、スポーツ、産業など幅広い分野において相互の発展と、ふるさとと呼び合える心ふれ合う友好都市となることを約束し、昭和62年7月、ふるさと友好都市を提携しました。

昭和63年には、他に先がけて「災害時における相互援助に関する協定」を結び、毎年消防団幹部の合同訓練を当町で行っています。

また、記念植樹や友好の碑の建立のほか、田植えツアーや稲刈りツアー、川口まつりへの友好みこしの参加などで毎年多数の市民が当町を訪れています。当町からも狛江市民まつりへの参加や、ほおずき市などに物産展の出店をしながら交流を深めており、今年で十周年を迎えました。

今後一層実りある交流に発展していくことが期待されます。

アンプホルンの響き 式典を盛り上げる

オープニング・セレモニー及び祝賀会のアトラクションでアルプホルンを演奏したホルンの会の皆さん。メンバーは小・中学生十五名を含む二十五名ですが、会結成後間もないこともあって、短期間で集中的な練習を重ね本番に臨みました。

式典では、神奈川県在住のホルンの指導者、中川重年さんから玉川ホルンの皆さんと一緒に見事な演奏を披露、ホルンの独特な音色が会場に響き渡り喝采を浴びました。県内でも初めての試みだけに出席者の興味と関心も誘っていました。



今年も狛江市から岩戸親睦会の皆さん50人が参加。伝統ある勇壮なみこしが、おんなみこしと競演しました。



▲おんなみこし



▲狛江市みこし



▲交通安全パレード



▲もちまき



▲時速5kmの衝撃体験。



▲大民踊流し



▲武者行列

祭り最大の呼びものは
中学生演じる武者行列。
あおり太鼓の響きでさつそつと
出陣。町内を練り歩いた。



▲あおり太鼓



▲息きょ登場、アルプホルン



▲子供天神ばやし



▲石投げ甚句



▶子供みこし



▲子供棒踊り

川口まつり

カメムルポ

今年の川口まつりは日程を変更、町制施行40周年記念式典と合わせ
9月19日(金)、20日(土)に行われました。
心配された台風の影響もなく、すべての行事が予定どおり行われ、
おまつり広場を中心ににぎわいました。

平成8年度 町の決算

総額60億

平成8年度 会計別決算の状況

	歳入	歳出
一般会計	41億4319万円	39億7867万円
国民健康保険	3億4135万円	3億1405万円
老人保健	6億1357万円	6億1357万円
簡易水道事業	3億230万円	2億7346万円
下水道事業	7億1116万円	6億9525万円
ガス事業	1億7757万円	1億7074万円
(収益的収支)	1億7757万円	1億7074万円
(資本的収支)	1693万円	4364万円
計	63億607万円	60億8938万円

歳入

歳入は、町民税などの「自主財源」と国・県の補助金や借入金などの「依存財源」に分けられます。(表1)

自主財源のうち町税は、法人町民税の落ち込みにより、42.8万円(4.5%)減少、5億1,028万円となりました。なお、繰越金、諸収入などを含めた合計額は、11億5,993万円(歳入全体の約3割)に過ぎず、町の財政は交付税などに大きく依存していることが分かります。

歳出

依存財源は歳入全体の7割を占め、うち地方交付税が15億1,284万円(歳入全体の36.5%)を占め最も多い。また、補助事業の導入により国・県支出金は47.6%増えて7億6,337万円に、町債(町の借金)も50.8%増えて5億9,070万円となりましたが、過疎債など将来交付税に見返りのあるものを主体に借入れています。

決算額(表2)を性別に見ると、前述したように普通

基金の積立額 20億5,000万円に

住みやすくするための環境整備を進める一方で、町の将来に備えた基金(町の貯金)の積立でも積極的に行っています。

8年度は、財政調整基金や減債基金、公共施設整備基金など計1億3,900万円の積立を行い、年度末の基金の

財政運営の状況は

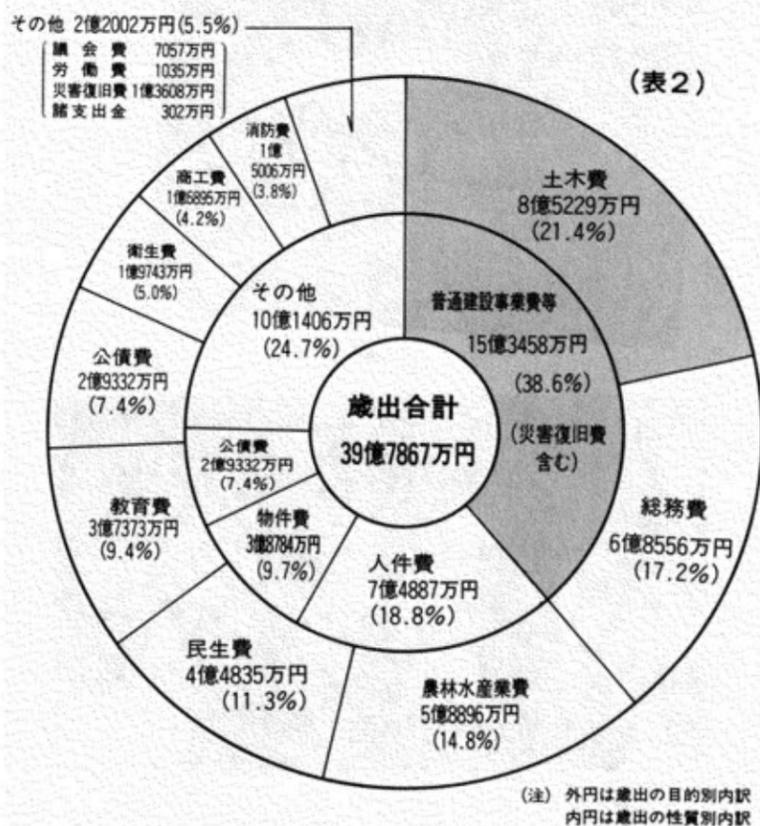
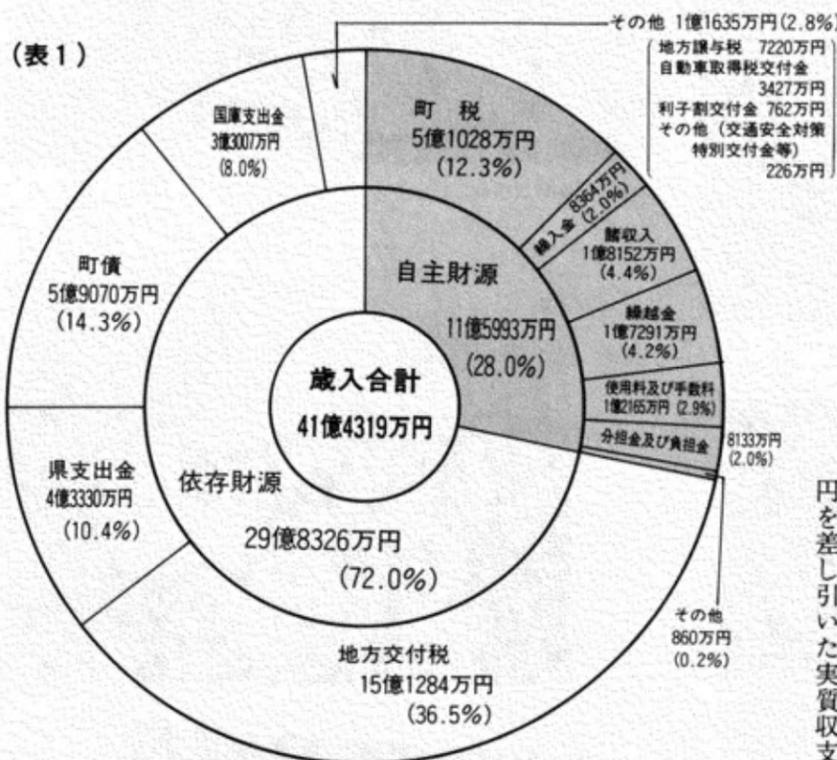
健全な財政運営をしているかどうかは、人件費比率、経常収支比率、公債費比率で表すことができます。

8年度は人件費比率31.2%、経常収支比率77.1%、公債費比率が8.8%と、いずれも正常値を示し、中でも公債費比率は5か年連続して10%以下となりました。

また、普通交付税のうち1億8,774万円が見返りで増額され、町債依存体質から脱却するため、起債は交付税に見返りのあるものを主体に借入れてきた成果が現れています。

町では、このように健全財政を堅持しながら、長期的な視点に立って、後世に負担を残さない計画性のある財政運営を行い、「人間性豊かな調和のとれた活力のある温かい町づくり」を進めています。

8938万円



平成8年度の一般会計の決算額は、歳入41億4,319万円、歳出が39億7,867万円となり、翌年度に繰り越した事業に使用する5,780万円を差し引いた実質収支は1

億672万円の黒字となりました。これを前年度と比較すると歳入が3億3,504万円(8.8%)、歳出が3億4,343万円(9.4%)それぞれ増加

しました。これは温泉施設や上川用水施設の整備、町営住宅の建設、住宅用地造成、川口中学校大規模改造などの定住環境整備事業が積極的に進められ建設事業費が伸びたことが主な要因です。

町議会9月定例会において平成8年度の決算が認定されました。

一般会計と4つの特別会計及びガス事業会計を合わせた歳出決算総額は、60億8,938万円となり、前年度より1億8,950万円の増加となりました。

町の財政はどのようにして運営されているのでしょうか。一般会計と特別会計に分けて決算のあらましをお知らせします。

一般会計39億7,867万円 温泉施設・町営住宅 住宅用地造成などに

(注) 外円は歳出の目的別内訳、内円は歳出の性別内訳

特別会計の状況

国民健康保険

- ◎歳入 3億4,135万円
 - ◎歳出 3億1,405万円
 - ◎歳入歳出差引 2,730万円
- 加入者の減少と医療費の上昇が続き、国保財政は引き続き厳しい状況にあります。8年度は被保険者の負担の軽減を図るため保険料を据え置きました。また、保険料収納率の向上や、一日人間ドックの助成により疾病の早期発見、早期治療に努め、医療費を抑制し健全運営を進めています。
- 加入世帯 661世帯
 - 被保険者数 1,540人
 - 1人当たり医療費 307,667円(2.7%増)
 - 1人当たり保険料 55,676円(0.7%減)
 - 1日人間ドック助成(受診者数) 178人

老人保健

- ◎歳入 6億1,357万円
 - ◎歳出 6億1,357万円
 - ◎歳入歳出差引 0万円
- 歳入、歳出共に前年度より約7500万円(約14%)も増加しました。
- 老人医療費を給付する会計で、高齢化の進行により、対象者数及び1人当たり医療費は年々増加し、会計規模も大幅に膨らんでいます。
- 高齢者の健康増進を図り適正運営に努めています。
- 老人医療給付対象者数 974人
(70歳以上 957人、65~69歳の障害者17人)
 - 1人当たり医療費 648,470円(9.0%増)

下水道事業

- ◎歳入 7億1,116万円
 - ◎歳出 6億9,525万円
 - ◎歳入歳出差引 1,591万円
- 平成8年3月に供用開始された公共下水道事業。平成元年度に着工、以来31億2800万円の巨費を投じ、8年度で第1期施工区域(東川口、西川口地区。西倉除く)のすべての工事が完了。下水道整備率は、37.5%となり、快適な生活環境づくりが大きく進められました。
- 下水道普及率 57.1%
(田麦山集落排水含む)
 - 水洗化率 42.3%
 - 主な事業
 - ▽特定環境保全公共下水道事業
・汚水管渠布設(西川口、牛ヶ島) 4,747m
中継ポンプ場5か所、牛ヶ島地区管渠布設実施設計委託など 5億5,861万円

簡易水道事業

- ◎歳入 3億 230万円
 - ◎歳出 2億7,346万円
 - ◎歳入歳出差引 2,884万円
- 平成6~8年度にかけて水量拡張とこれに伴う浄水場、導・送水管、配水池などの整備を進めていた、田麦山簡易水道改良工事が完成。このほか、下水道等他工事に伴う配水管の改良等が行われた。
- すでに町民皆水道が達成された水道事業では、水質と給水量の確保と経費の節減など健全運営に努めています。
- 給水人口 5,886人
 - 普及率 96.7%
 - 主な事業
 - ▽田麦山簡易水道改良工事 4,221万円
配水池(162㎡)1式、送配水管L=180m
 - ▽木沢簡易水道新設(繰越分) 1,236万円
水源施設1式
 - ▽配水管新設改良 3,832万円(12件、2,204m)

ガス事業

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 収入的収支 | 収入 | 1億7,757万円 |
| | 支出 | 1億7,074万円 |
| | 純利益 | 683万円 |
| 資本的収支 | 収入 | 1,693万円 |
| | 支出 | 4,364万円 |
| | 差引不足額 | 2,671万円 |
- (不足額2,671万円は、全額内部留保資金で補てんしました)
- 建設改良事業では、輸送導管の改良、下水道等他工事に伴う本支管の移設替えを主体に行いました。

- 8年11月にガス料金を改定、料金体系の変更が行われ複数2部料金制度に移行しました。
- 財政面では、減債積立金、建設改良積立金を合計3,100万円保有するなど良好な状態にあり、引き続き安定供給と保安の確保に努めています。
- 供給戸数 1,586戸
 - ガス販売量 150万478㎡
 - 主な事業
 - ▽地震計設置 124万円
 - ▽ガス本支管新設改良 2,926万円(13件、2,368m)

平成8年度主な事業(一般会計)

()内は総事業費

総務費

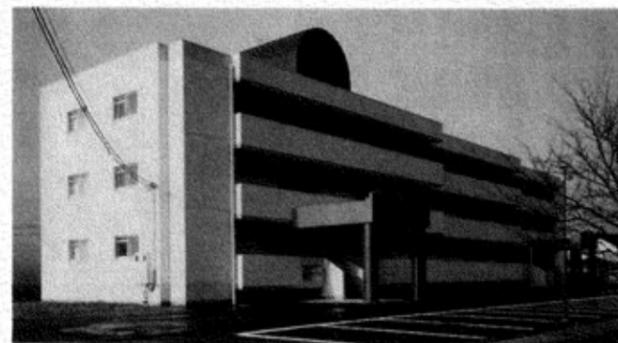
- 温泉施設整備(8~9年度継続) 2億658万円
(設計管理、温泉湯湯・配湯配管、温泉施設)
- 温泉権購入 1,200万円
- キャンパス川口温泉浴場建設 1,086万円
- バス待合所建設 309万円
- パークゴルフ場新設 1,185万円
- 辺地バス運行補助金 334万円
- 交通安全施設(区画線ほか) 219万円

農林水産業費

- 中山間地域総合整備事業 2億4,646万円
- ▽上川用水施設整備(送水管路2,910m、揚水機場3か所)
- 農村総合整備事業(和南津) 4,891万円
(集落道八郎場線、フケ田・谷内地区ほ場整備)
- 林道事業
- ▽上川線開設340mほか 4,133万円
- ▽下夕島線舗装150m 139万円
- 新潟県山間地域活性化総合対策事業
- ▽民俗資料館整備 2,335万円
- ▽農機具購入(相川管農組合) 704万円
- ▽ふるさとプラザ出店 210万円
- 新生産調整推進対策 522万円

土木費

- 大島団地1号棟建設 3億3,333万円
- 住宅用地造成(川岸) 1億1,609万円
- 町道改良6路線(464m) 1,612万円
- 町道舗装5路線(1133m) 1,865万円
- 克雪対策
- ▽凍雪害防止事業 979万円
(東川口、中新田流雪溝改修ほか)
- ▽防雪事業(消雪パイプ用ポンプ) 179万円
- ▽克雪住宅普及促進事業費補助金 36件 1,542万円



商工費

- ホテルの宿建設 1,044万円
- 町商工会補助金 150万円
- 川口まつり協賛会補助金 440万円

教育費

- ▽川口中学校大規模改造 1億4,494万円
(特別教室棟 1,748㎡)
- ▽いきいきスクールプロジェクト事業 351万円
- ▽いきいきスクールプロジェクトステップアップ事業 319万円
- ▽学校給食センター改修(0157対策) 776万円
- ▽スクールバス購入 443万円

民生費、衛生費

- 身体障害者福祉対策事業 371万円
(更生医療給付、補装具給付、身体障害者措置費、日常生活用具給付)
- 在宅老人福祉対策 1億267万円
(老人短期入所事業、老人保護措置事業、老人デイサービス、家庭奉仕員派遣事業、高齢者生活福祉センター生活援助員設置)
- 町単独福祉対策 365万円
(父子手当、精神障害者・腎臓機能障害者医療費助成、特定疾患・精神障害者交通費助成、福祉タクシー利用料助成)
- 介護者手当支給事業 153万円
- 老人クラブ補助 164万円
- 敬老事業 334万円
- 県単医療費助成事業 630万円
(県障、県老、県乳、県親)
- 成人病予防 1,362万円
(基本健診、胃ガン、子宮ガン、肺ガン、乳ガン、大腸ガンなどのガン検診)
- 老人保健施設整備費補助金 412万円
(小出本田病院)
- 長岡赤十字病院補助金 454万円
- 小千谷地域広域事務組合負担金 7,902万円
(最終処分場建設負担金含む)

消防費

- 小千谷地域広域事務組合負担金 1億1,368万円
- 防火水槽2基(武道窪、中山) 692万円
- 小型動力ポンプ付積載車1台 407万円

平成9年10月30日から

改正道路交通法の一部が施行されます

改正道路交通法のあらまし

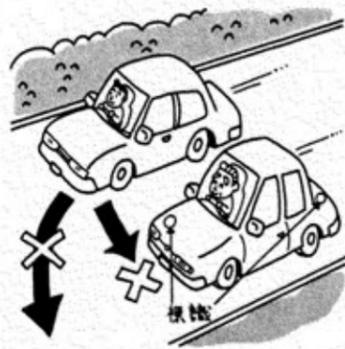
■高齢運転者の保護

高齢運転者は加齢に伴う身体機能の低下により、危険を避けるためのとっさの行動をとることが困難になったり、危険の発見や回避が遅れがちになったりします。このような高齢運転者の保護を図るため、75歳以上の高齢運転者で、身体的機能の低下により自動車の運転に影響を及ぼす恐れがあると自ら判断した場合については、普通自動車の前面及び後面に一定の標識（高齢運転者標識）を付けて普通自動車を運転するよう努めなければならぬこととしました。



高齢運転者標識

また、周囲の運転者は、この標識を付けた自動車に幅寄せや割り込みをしてはいけません。



■高齢歩行者の保護

高齢者の交通事故による死者のうち、歩行中の死者がほぼ半数を占めており、高齢歩行者の保護の必要性が非常に高くなっています。今回の改正では、通行に支障のある高齢歩行者が、道路を横断しようとしている場合に、高齢歩行者から申し出があったときなど必要があると認められるときは、その場に居合



わせた人は、誘導・合図をするなどして、高齢歩行者が安全に横断できるように努めなければならぬこととしました。また、車両等の運転者は、通行に支障のある高齢歩行者が通行しているときは、一時停止や徐行して、その通行を妨げないようにしなければなりません。

■高速自動車国道等におけるトレーラーの通行区分に関する特例

高速自動車国道等において、高速走行しているトレーラーが追い越しなどで進路を変更するときにバランスを失い重大事故につながるケースが見られることから、トレーラーは車両通行帯が設けられた高速自動車国道や自動車専用道路の標識等により指定された区間を通行する場合には、その最も左側を通行しなければならぬこととしました。

■交通情報を提供する事業者の配慮義務

交通情報の提供は、それが正確かつ適切に行われれば交通安全と円滑に資するものですが、誤った情報や不適切な情報の提供が行われると、交通安全と円滑に支障を生じさせる恐れがあります。交通情報提供事業者は、正確かつ適切な交通情報を提供し、交通安全と円滑に資するよう配慮しなければならぬこととしました。

〔その他の主な項目〕

- 平成10年4月施行予定
- 免許の欠格期間の延長
- 自動車等の運転者に重大違反行為をさせた者等に対する免許の拒否等
- 交通安全と円滑に資するための民間の組織活動等の促進
- 交通安全教育指針の作成及び公表
- 申請による免許の取消し
- 平成10年10月施行予定
- 軽微違反行為をした者の受講義務
- 75歳以上の者の免許更新に関する特例

平成8年の交通事故死者は、9年ぶりに1万人を下回りました。しかし、交通事故発生件数は約77万件で史上最高の件数で推移しているほか、4年連続して高齢者が最も死者の多い年齢層となるなど、厳しい交通情勢にあります。このような状況に対処するため、道路交通法が改正され、平成9年5月1日に公布されました。今後、公布の日から1年6か月を超えない範囲で段階的に施行されることとなります。

教育委員に

丸山恒久氏
古田島正作氏
山田智氏を任命

教育長に古田島氏

町議会9月定例会で、吉田快昇教育長の任期満了などに伴う町教育委員会委員の任命が行われ、丸山恒久氏（長坂・60歳）、古田島正作氏（総務課長・川口5・56歳）、山田智氏（原新田・56歳）がそれぞれ任命されました。丸山氏、古田島氏は新任、山田氏は再任。

なお、町教育委員会は教育委員長に岡村政雄氏（川口4・62歳）、教育長に古田島正作氏を選出しました。

固定資産評価

審査委員に

山吉康三氏
を再任

同議会では、固定資産評価審査委員会委員の選任も行われ、山吉康三氏（川口2・61歳）が再任されました。

役場職員の

人事異動

9月24日付けで次のとおり役場職員の人事異動がありました。

- 総務課長 内山敦夫
- （財政課長）
- 財政課長 桜井誠一
- （財政課参事）

※（ ）内は旧所属。

長岡地域行政組合中学生海外派遣事業

シンガポール・マレーシアを訪問

8月22日～27日



喜多村 歩惟さん
(川口中2年)

私がこの研修に行くと思ったきっかけは、去年の研修生の感想文を見て、海外に行つて楽しかったこと、嬉しかったことや海外の様子などがとてもよくわかり、私もこんな経験してみたいなと思つたからです。

海外に行くまで四回長岡で研修をしました。私以外にも二十九名の仲間がいて、みんなそれぞれ違う目標を持ちながら研修に来ていました。研修の内容は、英語の勉強がほとんどで、ワレセント中学校へ行つた時の質問のしかたや答え方、お店などでの対応のしかたなど初歩的な英語を細かいところまでいねいに教えてくれました。海外研修に行つても驚いたことは、お店の人やホテルの

人たちが、みんな日本語を話せることです。ホテルの売店でも、レストランでも、近くのお店でも、必ず日本語で私たちに接してきます。ですから日本語の話せない人やワレセント中学校にいった時はとてもとまどいました。ワレセントの友達が一生涯命話かけながら校内を案内してくれるのに、私たちは「YES」とか「OK」とかしか答えられなくて心配をかけてしまいました。このとき、もつと長岡の研修で英語の勉強を頑張つておけば良かったと思いました。

ワレセントの中学校はとてもきれいで、生徒が千四百人もいます。みんな元気が良く明るくて、ノリがいい人たちがばかりでした。私たちが歌う時もみんなニコニコしながら歌を聞いてくれました。研修生のみならず、その笑顔につられて長岡の研修では信じられないほど大きな声が出ていました。私たちの歌の振りつけを向こうの生徒さんはマネをしてみんなで歌つていま

した。とても思い出に残つて帰りのバスの中で「おさんだりする人もいました。その日の夜の夕食会では、具あまり積極的ではなかったことを挽回しようと思ひ、一生懸命話しかけたり、折り紙を教えたり、紙風船で遊んだり、日本語を教えたりして夕食を楽しみ、住所も教え合つて文通をするこゝたになりました。とても楽しい夕食会だったので、別れるときはとても悲しかったです。みんな写真や手紙を渡したり、握手をして別れました。言葉はわからなくても心は通じるんだということがわかりました。セントーサ島のろう人形館では、戦争の様子などがろう人形になつていて日本が戦争中にシンガポールの人々にしたいろいろなことがよくわかりました。その他にもたくさんのお見聞やいろいろな魚を見たり、火の不思議などたくさんのごちがわかりました。今回の海外研修では、世界の人の交流の大切さやいろいろな出来事に目を向ける積極性を持つこと、これからの国際社会は私たちが作り上げていくことがわかりました。

消防団総合演習



8月31日、川口中学校グラウンドで消防団や町内外の来賓など、二百四十名余りが参加して消防団の総合演習が行われました。

古田島団長の指揮のもと、分列行進や小型ポンプ操法(第5分団)、魚

野川堤防での放水演習などにきびきびとした規律と行動で日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、町を守る消防団の意気と団結を示していました。

表彰式では、平時の子防活動と建物無火災2千日以上で第1分団が表彰されたほか、消防団活動に功績のあった次の団員がそれぞれ表彰されました。

また、昨年まで長年消防団幹部として尽くされ今年退団された前第6分団長星野武男さん(木沢)には、感謝状と記念品が贈られました。

表彰された団員等

【川口町長表彰】
●建物無火災表彰(8月31日現在)
▽2千日以上2,016名 第1分団
■精勤章20年以上
▽第1分団(班長)阿部吉光(団員)平沢勝幸、関俊昭
【新潟県知事表彰・新潟県消防協会長表彰】(伝達)
■幹部功績章
▽本部(分団長)中林浩▽第2分団(分団長)丸山定夫
■精勤章20年以上

▽第1分団(班長)阿部吉光(団員)平沢勝幸、関俊昭
【新潟県消防協会長表彰】(伝達)
■精勤章10年以上
▽第1分団(副分団長)星野宏和(団員)伊佐昌樹、阿部孝一▽第2分団(班長)関 香(団員)佐藤晃、覚張一也、覚張庄平▽第3分団(団員)山崎太一▽第4分団(班長)真島賢次、関 忠弘(団員)綱正樹、真島一嘉、小西芳明▽第5分団(団員)渡辺良平
【川口町消防団長表彰】
■勤続章15年以上
▽第3分団(副分団長)江島一夫

(班長)江島智幸▽第4分団(分団長)関正一▽第5分団(分団長)森山雅義(団員)佐藤一男▽第6分団(団員)阿部和雄
■勤続章10年以上
▽第1分団(副分団長)星野宏和▽第2分団(班長)関 香(団員)覚張一也、覚張庄平▽第3分団(団員)山崎太一▽第4分団(団員)小西芳明▽第5分団(団員)渡辺良平
■勤続章7年以上
▽第3分団(班長)広井哲也(団員)星野政博▽第4分団(団員)関敏勝

■優良団員章
▽第1分団(副分団長)渡辺 学(班長)渡辺久治▽第2分団(班長)古田島守▽第3分団(班長)江島智幸▽第4分団(班長)真島賢次、関忠弘▽第5分団(班長)渡辺正広、森山慶昭
【新潟県消防協会北魚沼地区支会表彰】(伝達)
■功労章
▽第1分団(副分団長)星野宏和▽第2分団(副分団長)喜多村彰▽第3分団(副分団長)江島一夫、広井利昭
■精勤章25年以上

▽本部(分団長)岡村憲助
■精勤章15年以上
▽第3分団(副分団長)江島一夫(班長)江島智幸▽第4分団(分団長)関正一▽第5分団(分団長)森山雅義(団員)佐藤一男▽第6分団(団員)阿部和雄
■精勤章7年以上
▽第2分団(団員)丸山和文▽第3分団(団員)丸山亮浄、鈴木正秀、荒川賢一、平沢秀明▽第4分団(班長)浅間洋一(団員)真島松栄、関敏勝、関勝久▽第5分団(団員)大洲伸一、角張浩春、笹崎直樹▽第6分団(班長)星野達男

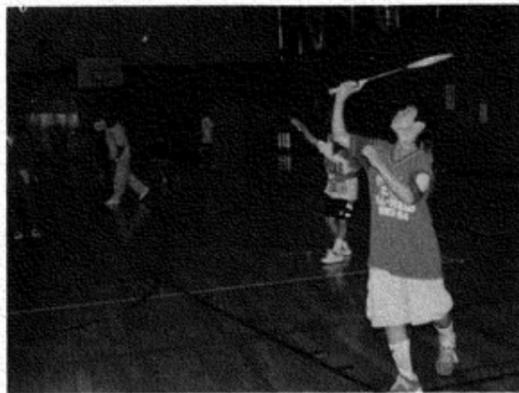
老人クラブがクリーン作戦

9月8日、老人クラブの皆さんが一日奉仕デーでキャンパス川口一帯のクリーン作戦を行いました。

これは町の老人クラブ連合会が社会奉仕の一環として計画したもので、町内の老人クラブの会員約六十名が参加、あいにくの小雨模様の中、多目的広場やオートキャンプ場、ピクニック広場などに分かれ、散乱している空き缶や紙ゴミなどを拾い、周辺もすっきりきれいになりました。



バドミントンで親子のふれあい



9月14日、キャンパス川口体育館で約五十人が参加して、親子ふれあいバドミントン教室(チャレンジゲーム)が行われました。

町バドミントン協会(代表小宮山芳治)が、愛好者の輪を広げようと初めて開催したもので、サーブ、レシーブ、ラリーなどの基本練習をゲームに見立て、遊びながらバドミントンの楽しさを体験できるユニークな試みで最後に親子対抗のダブルス戦。最終参加者の歓声が響いていました。

鉄欠乏性貧血 Q & A

Q 妊娠前から太っています。妊娠中期に入り、ますます体重が増えてきました。貧血でその上肥満の妊婦の食事はどんなことに気をつければいいのでしょうか。

A 妊婦の栄養不足や片寄り、おなかの赤ちゃんの発育が妨げられ、お母さんの産後の回復にも影響します。また、太り過ぎは出産のリスクも大きくなります。貧血や肥満を予防するために、次のことに気をつけてください。

- ①三食きちんと食べる。
- ②栄養のバランスのとれた食事を心がける。貧血予防のためにも、たんぱく質、鉄分、ビタミン類を充分とる必要があります。
- ③よくかんでゆっくり食べる。ゆっくり食べると少量で満腹感が得られます。
- ④一度に多く食べるより回数を増やす。
- ⑤主食類、菓子類、甘い飲み物は控える。

●お問い合わせは次の食生活改善推進委員に
鈴木 幸子さん (相川1) ☎89-2885
山崎しづえさん (相川2) ☎89-2059

今月の健康ライフ

貧血を予防するために ⑦

食生活改善推進委員 おすすめの **スタミナサラダ**



<1人分カロリー116キロカロリー 食塩量1.3グラム 鉄分3.0グラム>

- 材料(4人分)
- | | |
|--------------|-------------------------|
| 豚もも肉すき切り…4枚 | しょうが……………1かけ |
| ニンニク……………1かけ | いり白ごま…大さじ2 |
| 油……………小さじ2 | しょうゆ……………大さじ1 |
| 塩、こしょう……少々 | 大根…………… $\frac{1}{3}$ 本 |
| ほうれん草……………1わ | |
- 作り方
- ①豚肉は細切り、ニンニクはみじん切りにし、油で炒め、塩、こしょうする。(さましておく)
 - ②ほうれん草はゆでて、3cm位に切る。
 - ③しょうがはみじん切りにする。
 - ④大根はおろして、軽く水気をきっておく。
 - ⑤①～③、ごま、しょうゆであえ、最後に大根おろしをあえる。

消子ちゃんのそこが知りたい住宅防火



A 天ぷら油による火災は、天ぷらを揚げている時に、「コン」の音を離れることよって起こることが多いのです。天ぷら油は温度が300℃前後になると、油自体が発火して燃え上がり、電話や来客で「コン」の音を離れる時は、必ず火を消しましょう。

なぜ、天ぷら油で火災になるのですか？

町国書館から

休館日 (月曜・祝日)

■玄界灘 白石一郎

「櫓をこげい！」と留は袖先で腰の太刀を抜いて振りかけた。「蒙古の船は隠岐と対馬の沖合いじゃ。急げば間に合わぬことはない」おう！と一同が応え櫓声揃えた。「えいやめ、えい、えいやめ、えい」天登船は半ばやけっぱちの若者たちを乗せて日比水道を北西に向かう。(本文より)
……3万数千の蒙古軍に島を廃墟にされて生き残った若者は復讐に燃えた。

■噓う伊右工門 京極夏彦

ぞろぞろと戸の開く気配がして、夜陰が濃く。黒い塊が這入ってくる。得体の知れぬ塊はぞろりと戸を閉め、戴きやすぜーと言葉を発した。鬼才が挑む悪の華「四谷怪談」

■子どもに語る 日本の昔話 1,2,3

稲田和子、筒井悦子

昔々あったとき〜
大人も子どもも、心がゆったりとくつろぐ昔話の世界。そんな別世界に運んでくれる魔法の言葉が詰まった昔話集

— その他の新着図書 —

- 平気度うそをつく人たち/M・スコットペック
 - 心の復活/堀田 勉
 - 笑いの治療力/アレン・クライン
 - 日本の牛乳はなぜまずいのか/平沢正夫
 - 子どもは親が教育しろ!/小浜逸郎
 - ヨーロッパ人の奇妙なしぐさ /デズモンド・モリス
 - ナチスを売った男/C・クライトン 落合信彦訳
 - 食う寝る坐る永平寺修行記/野々村肇
- その他続々入館しています。ご利用ください。



木沢の風景をかきました。稲刈前の稲がきれいでした。がんばったのは、屋根のかわら一枚一枚かいたことです。苦労したのは、木の影の色をつくるのがたいへんでした。うまくかけてよかったです。

いぎいぎギヤラニー

小林祥江さん (木沢・12歳)

東京へ帰り行く娘に虫が鳴く 喜多村キヨ
久々に帰省したのしかった日々が、あつという間に過ぎ、もう娘は東京へ帰らねばならない。そんな娘に庭の虫が切々と鳴いている。この虫の音は作者の声でもある。そこはかとしたあわれがある。知らぬ子に袖摺まれし大花火 鈴木良仙
花火かな。の下五を。大花火。と添削したが、花火大会のはほえましい実感がものを言う句となった。
蜘蛛の声しみじみと山家なる 星野七朗
街中では蜘蛛を聞くこともない。あの遠くへ誘われるような鳴き方は詩情そのもの。山住みと思われ作者は、その蜘蛛の声をしみじみと聞き、何にも替え難い幸せを感じているのがよくわかり、蜘蛛の声も聞えるよう。

俳壇

大内迪子選

公民館句会 (8月24日)

能登瓦黒光りせし残暑かな 山田久子
大根の芽の出揃へる朝かな 山田チヨ
検診車朝より蟬の鳴く樹下に 上村たつを
育てたる月下美人の花に酔ふ 山田 悦
大声で孫達を呼び虹を見る 星野きの
日の温みある石に掛け遠花火 覚張次郎
盆踊太鼓の音の聞え来る 小西シゲノ
とうふやのラッパバタ焼路地を行く 小宮山トキ
次々と暑さにひらく薔薇紅き 小宮山ミチ
蓮の花静かにゆらし池の亀 関 よし
庭に來し土用の雀瘦せてるし 丸山好枝
晴天に恵まれ揃ふ稲の花 山田マス
還暦の踊りしなやかなりしひと 星野智恵子
寺の裏午後より合歓の花明り 渡辺裕一
はや虫の声を聞きつつ草を薙ぐ 宮 ミヨ
畑仕事の汗拭きながら川辺りへ 渡辺よう子
流れ来る霧に匂ひて合歓の花 宮 ヨキ
午後のはや夜となりたる盆のゆく 三輪京子
父母の小さくなりし昼寝かな 藤田節子
呼んでゐる僕を呼んでる夏の海 宮 哇歩
校正のあれこれ散らし夜の秋 新宮山紫
手を置きし石あたたかに虫をきく 星野修庭史

■町民俳句大会

10月3日(金) 午後1時より

生涯学習センター

■老人クラブ俳句教室 (末広荘)

11月20日(木) 出句締切 午後1時

町制施行40周年記念

うたとトークのつどい

当重 茜オペラの夕べ

国内外で活躍している新進気鋭のオペラ歌手「当重 茜」さんの、オペラの楽しみ方、聴きどころなど、トークを交えた楽しいレクチャーコンサート。

とき 10月29日(水) 午後7時〜

ところ 生涯学習センター

出演 歌とトーク 当重 茜さん
ピアノ 桑原 十弾さん

第1部 歌でつづる世界の旅

第2部 みんなでうたいましょう

第3部 日本の秋をうたう



町民文化祭・芸能発表会 出展作品・参加者募集

さまざまな趣味の活動をしている人たちの発表の場「文化祭・芸能発表会」の出展作品と参加者(団体等)を募集しています。

希望される方は、10月15日(水)までに教育委員会へご連絡ください。

— 文化祭 —

- ◆期間 11月1日(土)〜3日(月)
- ◆会場 生涯学習センター1F及び町民文化会館2F
- ◆展示作品 芸術展(書道、工芸、絵画、写真、パッチワーク、フラワーデザインなど)、ジュニア展、菊花展など

— 芸能発表会 —

- ◆日時 11月3日(文化の日) 午後1時〜4時
- ◆会場 生涯学習センター2Fホール



特別養護老人ホーム

小栗田の里、美雪園を慰問して

— 川口町民踊研究会 —

田んぼが黄金色づく9月7日、私たちの会(会員17名)では、小千谷市小栗田の里に慰問に出かけました。六十余名の車椅子のお年寄りが、手をたたけない人は体を揺すり、涙を流して、私たちのつたない踊りと唄を見てくださいました。いずれ遠くない将来に私どもも、皆いく道だと思つと、胸がジーンとしてきました。

今年度は、数年来の計画であった、各施設への慰問を一挙に実行しました。特に、美

雪園に行った時は、五名のボランティアの方が応援して下さい、ジュース配りや車椅子押しなどを手伝っていただき本当に充実した慰問だったと思います。川口町からの入所者もいらつしやいますので、一番最後に「川口音頭」と「盆踊り」をお見せしました。お年寄りや職員の方が、ともに調子をとって会場全体が熱くなったように思いました。

今後でもできる限りこの活動を続けていきたいと思つています。



▶小栗田の里で 民踊を披露

お知らせ

川口町役場 ☎89-3111
 総務課 財政課
 企画課 社会保健課
 農林課 企業課
 (農林委員会) 収入役室
 土木課 教育委員会
 下水道課

キャンパ川口 ☎89-4171
 (家族旅行村振興課)

キャンパ川口通 ☎89-4511

ぬくもり荘 ☎89-3117
 (地域福祉課)

生涯学習センター ☎89-3120

図書館 ☎89-4030

駅前集会所 ☎89-2760

参加者募集
 秋期町民バドミントン大会
 バドミントン協会
 ☎89-2248

「おはなしひろば」
 教育委員会

日時 10月20日(月)、27日(月)
 11月3日(月)、10日(月)
 午後8時より

会場 泉水小学校体育館

試合内容 男女混合ダブルス
 夜間リーグ戦

募集対象 高校生以上

申込期限 10月13日(月)
 申込み、問い合わせ先
 バドミントン協会
 代表 小宮山芳治まで

日時 10月25日(土)
 10時～11時

会場 生涯学習センター

内容 とんとん昔、絵本読み
 聞かせ、工作など。

対象 幼児から小学1・2年生

「おはなしひろば」へ
 あそびにきませんか？
 たのしい「おはなし」がいっぱいです。ぜひ、おいでください。

第27回 農林水産 振興まつり

とき 10月19日(日)
 ところ 生涯学習センター周辺

- 農産物品評会と大売出し
- 宝船値段当て
- もちつき大会
- 大当り抽選会
- アトラクション
- 各種サービスコーナーなど

— 併催行事 —
 錦鯉品評会 (役場前)



プランターデザイン
 募集します
 新潟県都市緑化センター
 ☎(025) 285-5510

新潟県では、県内の林業振興の促進と美しい町づくりを目的として、間伐材を利用したプランターのデザインを募集しています。

応募資格 中学生以上の個人

応募方法 A3版の白紙用紙1枚に形状や寸法・規模がわかるようにデザインし、作品の裏面に住所、氏名、年齢、職業(学生・生徒の場合)は学校名と学年、電話番号と作品の簡単な説明を明記してください。

応募締切 10月31日(当日消印有効)

賞 ▼最優秀賞(1点) / 賞状・賞金10万円 ▼優秀賞

(2点) / 賞状・賞金5万円
 ▼佳作(5点) / 賞状・賞金3万円

審査結果 11月下旬に受賞者本人に通知します。

応募及び問い合わせ先 新潟市新光町5-1-1千歳ビル4F 新潟県都市緑化センター
 「プランターデザインコンペ」係

子育て・教育講演会
 魚沼の子育て教育を語る会
 ☎(02577) 2-2037

日時 10月18日(土) 18時30分
 場所 小出町ボランティアセンター

講演内容 「子供の心の叫びが聞こえますか」
 (講師) 丹羽徳子さん
 (岐阜県恵那教育研究所員)

参加費(前売) ▼大人500円(当日600円) ▼中高生300円(当日400円)

※別室で子供さんを預りままです。
 ※町教育委員会も後援しています。

各種大会結果
 5

■第3回郵便局長杯
 ゲートボール大会
 (9/4・すばく川口) 参加12チーム

優勝 前原チーム

△決勝戦
 前 原 22-11 大 形

▽3位決定戦
 和南津寿 13-10 千歳会 A

■第5回北魚沼郡縦断
 親善駅伝競争大会
 優勝 守門村(須原) 2時間49分20秒

6位 川口町 3時間0分16秒
 ▼区間賞/1区(2.7キロ) 丸山潤一郎(牛ヶ島) 8分42秒 / 2区(2.8キロ) 白井正人(貝ノ沢) 9分01秒

●善意に感謝します
 武者行列保存会へ
 わら草履(手作り) 20足
 野田 平沢カウさん(86歳)
 ※武者行列の「女御」用のわら草履を寄付していただきました。

行政・人権・心配ごと
 合同相談所開設
 総務課

行政相談委員、人権擁護委員、心配ごと相談委員の合同相談所を開設します。

行政への要望や苦情、または心配ごとやお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

日時 10月9日(休)9時～12時
 場所 末広荘

※次の方が相談に応じます。
 行政相談委員 川上敏夫さん
 人権擁護委員 横田正久さん
 // 関 市郎さん
 心配ごと相談委員 桜井仁夫さん

※詳しくは、総務課まで

コンピュータカレッジ
 平成10年度生募集
 信濃川テクノアカデミー
 ☎82-8282

募集学科

▽プログラム設計科(OA処理コース)……………2年制

▽システム設計科(マルチメディアコース)……………2年制

▽情報ビジネス科……………1年制

▽OA秘書科……………1年制

▽情報処理技術研究科(大学短大、専門卒対象)……………1年制

●フリーダイヤル(無料)
 ☎0120-405070

10月は高齢者雇用促進月間です
 ハローワークおぢや
 ☎82-2441

10月は労働保険
 適用推進月間です
 ハローワークおぢや
 ☎82-2441

働くあなたと家族を守る労働保険

労働(労災・雇用)保険は従業員を一人でも雇用する事業主の責任として、加入が法律で義務づけられています。

新たに従業員を雇用した場合や、すでに雇用しているが手続きのまだ完了していない事業主は、速やかに加入手続きを済ませましょう。

なお、事業主に代わって手続きを行う労働保険事務組合制度を利用すると、さまざまな特典が受けられます。

多重債務一〇番
 新潟県司法書士会

借金返済でお悩みの方、新潟県司法書士会が電話での相談をお受けし、法律的なアドバイスをします。

日時 10月19日(日)
 10時～16時

相談先電話番号
 ☎025(226)5090

相談料 無料

継続雇用の65歳

本格的な高齢社会の到来を迎え、高齢者の雇用就業の場の確保が重要な課題となっています。そのため

- 60歳定年を基盤とする65歳までの継続雇用の促進
- 高齢者の多様な形態による雇用就業の支援
- 高齢期における雇用就業の支援

などの対策を推進しています。事業主の皆様のご理解とご協力をお願いします。

10月、11月は 国民年金制度推進月間です

11月6日から12日は
 年金週間です

国民年金制度は、やがて迎える21世紀の高齢化社会を安心して暮らしていくためになくてはならない制度です。

新潟県では、毎年10月・11月を、「国民年金制度推進月間」と定め、国民年金制度に対する理解を一層深め、より身近なものとしていただくために積極的な事業を実施しています。



推進月間中は県内各地で年金相談所も開設されます。日ごろ、年金について疑問に思っていることや、皆さん自身の年金についてわからないことなど、お気軽にご相談ください。年金をよく知るチャンスです。

また、国民一人ひとりに年金制度に対する信頼と愛着を深めていただくために、11月6日から12日までを全国的に「年金週間」と定め、さまざまな事業を行っています。

皆さんもこの機会に、年金について考えてみませんか？「明日のあなたを考えると…」年金はあなたが主役です。お問い合わせは、社会保険課国民年金係まで